



7月の園だより

令和8年6月29日

杉並区立西荻北子供園

園長 須田 なぎさ

夏の遊びの中で育つ心と体

主任教諭 杉本 有優美

梅雨の晴れ間に夏の日差しを感じる季節となりました。あじさい門には色鮮やかなアジサイが咲き、子どもたちは季節の移り変わりを感じながら毎日元気に遊んでいます。

6月から始まった水遊びやプール遊びでは、子どもたちの生き生きとした姿がたくさん見られ、それぞれの発達に応じた豊かな学びが広がっています。

年少児では、最初は水しぶきを避けるようにしていた幼児も、周りにいる幼児が楽しそうに遊ぶ様子を見て、少しずつ水に触れるようになりました。遊具を手に取り、水の冷たさや感触を楽しみながら笑顔を見せる姿が見られていました。

年中児は初めての大きなプールに喜びを感じながら、友達と一緒に水の気持ちよさや心地よさを感じていました。また、水遊びの遊具を組み合わせながら、水の流れを楽しむ様子などが見られています。

年長児のプール遊びでは、顔を水につけたり、浮く感覚を味わったりと一人ひとりが自分のめあてに向かって取り組む姿を大切にしていきます。保育者はその小さな成長を丁寧に認めながら、安心して取り組める環境づくりに努めています。

今年度の東京すくわくプログラムのテーマは『色』です。本プログラムは、子どもたちが身近な事象に主体的に関わり、試したり気付いたりしながら学びを深めていくことを目的としています。各学年の発達や興味関心に応じた色を楽しむ遊びを取り入れ、感性や探究心を育てています。

3歳児は、冷たくやわらかな黄色や青、赤などの色のついた寒天に触れ、「ぷるぷるするね」「きれい!」と感じながら、手で握ったりおもちゃのナイフで切ったりして、感触を楽しんでいます。

4歳児は、水性ペンで色をつけて障子紙を水に浸

し、すい上がってきた水がインクの色と混ざってゆっくりと滲んでいく様子をじっと見ていました。繰り返し遊ぶ中で、色の広がりや混ざり合いに気付き、同じ机で遊んでいる友達の滲み絵にも関心を向け色の不思議さに心を動かしていました。

5歳児は、赤、青、黄色の色水を混ぜながら色の濃度を比べたり、色の変化をよく見たりして、何度も試して色づくりを楽しんでいます。友達と見せ合ったり、友達の真似をしたりする中で、比較したり、工夫したりして楽しむ姿が見られました。

これから本格的な夏を迎えます。暑さが厳しくなる時期ですが、園では熱中症対策や安全管理を徹底しながら、子どもたちが夏ならではの遊びを十分に楽しめるようにしてまいります。セミの声に耳を傾けたり、夏野菜の生長を観察したり、水や泥、自然物に触れたりする中で、この時期だからこそ味わえる発見や経験を大切にしていきたいと考えています。ご家庭におかれましても、十分な睡眠や朝食、水分補給など、健康管理へのご協力をお願いいたします。子どもたち一人一人が心も体も開放しながら、友達や保育者とともに充実した夏の日々を過ごせるよう、職員一同努めてまいります。

c

